

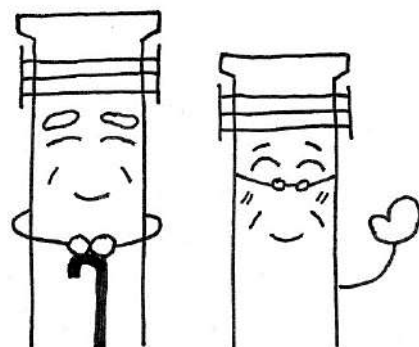


発行：NPO法人野沢3丁目遊び場づくりの会

＼ おいでよ！ いこうよ！ テットーひろば ／

ご近所のおじいちゃん&おばあちゃん、いらっしゃ〜い！

のざわテットーひろばは、子どもの遊び場だけじゃない。赤ちゃんからおじいちゃん・おばあちゃんまで、だれでも来ていい場所です。お散歩がてら遊びに来てみませんか？



テットーひろばのココがオススメ！

① 毎月第1土曜に「刃物とぎ」やってます！



おうちにある包丁や刃物の切れ味、最近悪くなっていませんか？ 毎月第1土曜日13時～16時半まで、「とかのさんの刃物とぎ」を行っています。

1本700円(1人2本まで)、事前申し込み不要です。ぜひ、テットーひろばにお持ち寄りください♪

② 不定期に「スマホ講座」やってます！



「オンラインをしたいんだけど、どうやれば良いの…？」 「QRコードが読み取れない…」 そんな日常のお悩みを解消して、スマホライフを楽しみませんか？

参加費500円、事前申し込みが必要です。次回の開催は、テットーひろば外の掲示板でお確かめください！

③ はたけ部の活動で畑作業ができる！



テットーひろばの来園者有志で構成する「はたけ部」が、野菜の栽培やミニ田んぼでの米作り、染め遊びなどを通して、親子で土のふれあいを楽しんでいます。

畑の手入れが好きな方、土いじりに興味ある方など、子どもたちと一緒に畑仕事しませんか？

④ 週5日開園なので、いつでも行ける！



テットーひろばは、日・木以外に開園している地域の遊び場です。開園日はプレーリーダーと日替わりのお当番スタッフが常駐しています。

ひろば内の見学やお散歩の休憩など、子連れ・孫連れでなくてもOK！いつでも遊びに来てください☆

◆ 重要なお知らせ ◆

のざわテットーひろばは、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら、通常どおり開園しています。感染状況や社会情勢により、イベント・講座等の内容を変更または中止する場合があります。ホームページ、ブログ、Facebook等での最新の情報をご確認ください。

のざわテットーひろばは〈地域みんなの居場所〉として、コロナ禍においても、「遊び」をとおして子どもたちの心のケアと、親の不安や負担を軽減できたらと思いつながりながら活動しております。

開園中は子どもの声などでお騒がせいたしますが、何とぞご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

これって知ってる？

テットーひろばのあゆみ

～第1回・「誕生秘話」編～

のざわテットーひろばは、2022年に開園20周年を迎えます。

これまでのあゆみを、3回にわけて紹介しながら振り返ってみたいと思います。

第1回の今号は、テットーひろばはどのようにして生まれたのか？その背景を見てみよう。

●はじめは、とある地域住民の思いから・・・

テットーひろばがある土地は、以前、造園会社の資材置き場として利用されていました。1990年代終わりの頃、この場所に4階建てワンルームマンションの建設計画が持ち上がりました。この計画に周辺住民が反対運動を起こし、隣に住む山縣恒子さん（テットーひろばの大家さん）が土地を買い取ったことから始まりました。

買い取った土地を地域のために活用できる方法を模索する中で、プレーパークの取り組みを紹介する新聞記事に目が留まり、国分寺市プレイステーションを見学されました。

「あれはダメ、これは危ないよと言わずに、子どもたちが自由に遊べる環境をつくりたい」という思いが芽生え、その後、冒険遊び場情報室（現在のNPO法人日本冒険遊び場づくり協会）へ遊び場づくりの相談をもちかけ、助言を受けつつ、低年齢の子どもを対象にした遊び場づくりが始まりました。



造園会社の資材置き場時代のようす

●さまざまなご縁と出会い

テットーひろばを始めるにあたって、山縣恒子さん自ら近隣住民にアンケートをとり、要望や不安などを聞くことから始められました。約600平米の敷地に敷かれていたアスファルトをはがし、中央に「みどりのやね」のおうちを建設したほか、クスノキや実のなるイチジク、アンズなどの木を10本ほど植えました。

また、遊び場運営を地域住民へと呼びかけている際、目黒区を中心に活動していた「マンマとプチ・グランマ」という子育て支援団体と出会い、世田谷ボランティア協会や冒険遊び場情報室とともに、遊び場の立ち上げに取り組むこととなりました。



テットーひろば建設中のようす

2002年1月、任意団体「野沢3丁目遊び場づくりの会」を設立し、初代代表に池田栄子さんが就任しました。

オープン以降は、テットーひろばの「みどりのやね」に事務局を置くことになった冒険遊び場情報室の局員が、日々の開閉園作業や遊具等の管理を担ってくれることになりました。テットーひろばは、さまざまなご縁のもとで始まった遊び場だったのです。

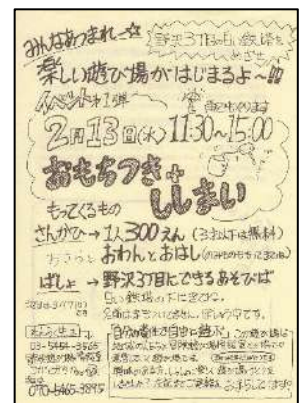
●ついにオープン！まだまだ続く「遊び場づくり」

2月・3月にはオープニングイベントとして、おもちゃつきや獅子舞、遊ぼうパンを行い、約300人の子どもたちや親子が集まりました。2月のイベントの様子は、新聞記事にも取り上げられました。そして2002年4月、テットーひろばは産声をあげます！



開園当時の土のひろばのようす

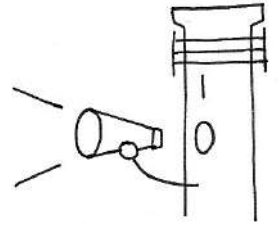
毎週水曜日の週1日開園で始まったテットーひろばですが、当時は敷地の中央に真新しい建物がポツンとあるだけで、周囲は野原のような場所でした。備品や遊具をもっと増やしていきたい、場づくりをしていく常駐プレーリーダーがほしいなど、持続可能な運営への思いが強まる一方、当時は基盤づくりをするほどの資金はなく、その望みを助成金につなげていくことになりました。 つづく・・・



オープニングイベントのチラシ



テットーレポート



★「ちいさな里山」づくりがスタートしました！



テットーひろばの来園者有志で構成する「テットーはたけ部」では、「パルシステム東京市民活動助成基金」より助成いただき、畑作業に必要な備品とそれを保管する“はたけごや”（倉庫）の建設、堆肥場・ぶどう棚・ビオトープの設置を進めてきました。テットーひろばには、カエルや蝶、ミミズなどのさまざまな生き物が集います。この環境を利用して、土を耕し、育て、収穫して食べ、残り物を活かすという手間を加えながら、「ちいさな里山」をつくっていきたいと思っています。



また、はたけ部のリーフレットも制作しました。テットーひろばで配布しているので、ぜひ手にとってみてください。

★スタッフ退任のお知らせ

テットーひろばの立ち上げから関わり、2006年からの5年間は代表を務めた〈広吉敦子さん〉が、今年3月、高知県へお引越しされることになり、お当番スタッフを退任されました。



私にとってテットーひろばは第2の我が家。育て、育てられ、さまざまな経験をさせてもらいました。こんな理想的なコミュニティを高知でつくれるかどうかわかりませんが、皆さんが遊びに来たくくなるような、そしてそのうちもしかしたら、移住したくなるような場所にしていきたいと夢をふくらませています。

高知では都会にない田舎の大自然を味わい、田舎にない都会の文化を広め、お金がない人でも、いやお金がないからこそ豊かに暮らしていけるような環境をつくっていきます。



プレーリーダーのひとりごと

*プレーリーダー：いえもん

テットーひろば開園日にほぼ必ずいる常勤スタッフ。子どもの遊びを見守り、時には一緒に遊び、子どもが自由に遊べる環境づくりをしています。光るどろだんごをいつか作りたいと、いろいろ格闘中。

■「何歳から外遊びできますか？」

「外遊びはいつからさせた方がいいの?」「ハイハイできたら…? あんよできるまで待った方が…?」赤ちゃんが生まれたお母さんから、よく聞かれる質問の1つです。外遊びデビューのタイミングに悩むママ&パパは多いと思います。

この質問に、僕は「赤ちゃんから外遊びできますよ!」と答えています。水や泥にまみれて遊ぶことだけが外遊びではないと思うからです。

赤ちゃんは、生まれた瞬間からいろんな感覚を研ぎ澄ませながら過ごしています。多



彩な自然の色、風の流れ、草木のにおい、水や土の感触などさまざまな刺激を受けることで、豊かな成長につながっていきます。テットーひろばに遊びに来る赤ちゃんママからは、「30分過ごすだけで、お昼寝の寝つきが良くなるんです」と聞きます。お兄ちゃんお姉ちゃんの遊びを見るだけでも、赤ちゃんにとっては大きくて豊かな刺激ですね。「土のひろば」に面するウッドデッキでは、時々、赤ちゃん親子の輪が広がっています。子どもだけでなく親同士もつながり、リフレッシュできるのも外遊びの魅力です。



“ささえの手” 募集中！

のざわテットーひろばの運営は、子育て真最中あるいは子育てがひと段落した地域の大人たちの思いと力によって成り立っています。ぜひ、私たちといっしょに地域の遊び場をつくりませんか？



★ ささえ手会員（運営会員）でささえる！

●年会費： 1口1000円（うち300円は、ボランティア保険に充てられます）

イベントの企画からひろば全体の運営など、さまざまなことを毎月のミーティングで話し合います。時には、自分の「やってみたい！」と思う企画をみんなで話し合いながら、カタチにしていきます。のざわテットーひろばのミーティング・総会での議決権があります。

★ 気持ちささえ手会員（賛助会員）でささえる！

●年会費： 1口1000円（2口以上からお願いします）

のざわテットーひろばの運営を資金面から支えます。

* 年2回開催する会員限定の交流会や、子育て支援講座などのイベントに会員価格で参加できるなどの特典もあります！ 登録方法など、詳しくはお問い合わせください。



のざわテットーひろば ってなあに？

「地域みんなで子育てしよう！」
「子どもたちにもっと自由な遊び場を！」
という地域住民の思いで開放された私有地を利用して、
2002年4月、のざわテットーひろばは生まれました。

テットーひろばは、子どもたちの「やってみたい！」と思うことが自由にできる遊び場です。

敷地の中央には「みどりのやね」と呼ばれる小さな家があり、絵本やベビーベッドがあるので、赤ちゃん連れのママ&パパでも安心。

乳幼児を中心とした異年齢の子どもが「遊び」を通して関わりあい、生き活きと育ちゆく姿を、親だけでない多世代の大人が見守っています。

★ テットーひろばの日常やイベント情報を、各種WEB媒体で発信中！

ブログ「テットーひろば de のほほん」では、日常の様子やイベント報告、プレーリーダーの思いなどを発信しています。

その他、イベント情報などは、Facebook、LINE、インスタグラムなどの各種SNSでも定期的に配信しています！

のざわテットーひろば

〈運営：NPO法人野沢3丁目遊び場づくりの会〉

〒154-0003 東京都世田谷区野沢3-14-22
TEL 03-3418-9950 MAIL tettohiroba@gmail.com
WEB <http://tettohiroba.lolipop.jp>
時間 10時～17時（11月～1月は16時まで） 休み：毎週日曜日・木曜日

東急東横線「学芸大学駅」から徒歩12分
バス停「野沢三丁目」「野沢交番」「駒沢陸橋」「下馬六丁目」から徒歩5分

